

事務事業チェックシート

事務事業No **519** 事業名 **水路維持事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費 その他		管理経費	○
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		下水道費	
	目		水路維持費	
	大事業 事項		水路維持事業	

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	3	住環境の整備
施策	2	河川・水路の整備
基本方針	3	水路の改修

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	下水道管理課	堀口真也 (435-1096)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）		事業内容					
事業概要	市街化区域にある法定外水路等当課管理の水路の通水管理		泥、ゴミ等の堆積により水路の通水機能が損なわれている場合に浚渫をすることにより、適正な通水機能が保たれた状態とする。また、頻繁に堆積する場所については底面等にコンクリート打ちの工事を行い対応する。 業務の工程は、地元等からの要望により現場確認を行い、必要性を認めた場合は、業者へ委託し業務を行なう。また、業務完了後は報告を受け、担当職員が検査することにより完了する。				
	実施内容		平成25年度 水路の維持・修繕	平成26年度 水路の維持・修繕	平成27年度 水路の維持・修繕	平成28年度 水路の維持・修繕	平成29年度 水路の維持・修繕

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	102,001	97,607	104,537	101,074	103,676	96,670	104,537		104,537	
伸び率 (%)	-	-	2.5%		-0.8%		0.8%		0.0%	
人件費	常勤職員	34,668	34,906	34,668	32,096	34,668	29,420	34,668	34,668	
	非常勤職員	1,206	804	1,206	1,404	1,206	1,377	1,206	1,206	
	小計	35,874	35,710	35,874	33,500	35,874	30,797	35,874	35,874	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	102,001	97,607	104,537	101,074	103,676	96,670	104,537		104,537	
所要人数	常勤職員	4.67	4.67	4.67	4.32	4.67	3.96	4.67	4.67	
	非常勤職員	0.57	0.38	0.57	0.71	0.57	0.38	0.57	0.57	
主な予算内訳		委託料71,330千円 工事請負費9,085千円								

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	要望受付件数				年度目標値				
					実績値	104	109	99	
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	修繕箇所件数				年度目標値				
					実績値	104	109	99	
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度			
					年度目標値				
					実績値				
					年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>近年、住宅開発の増加等により、水路内の泥、ゴミ等の堆積が増加している。 なお、昨年度より水路敷の泥上げ場の草刈の費用が増大していることへの対策として、土間コン工事を多く実施できるよう改善している。</p>
「見直し」 「改善」案	